

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21947
事業名	札幌交響楽団運営補助金					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集ま					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	昭和36年7月札幌市民交響楽団の名称で発足。翌年3月、札幌市が1, 500万円の助成を行い「財団法人札幌交響楽団」を設立。以降、額の変動はあるものの毎年継続して交付。また、平成29年の文化芸術基本法の改正において、年齢や経済状況などにかかわらず等しく文化芸術の鑑賞等ができる環境の整備が新たに掲げられており、市民に質の高い音楽を提供している同楽団は、札幌市の文化芸術の振興に大きく寄与している。
	事業内容(何を実施し)	北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団が行う市内演奏会や学校を対象とした体験型の音楽教室等の音楽芸術普及振興事業を支援するため、その運営費に対して補助金を交付する。 ・オーケストラ演奏会:計114公演、入場者数125, 058人(うち自主公演42公演開催) ・教育、地域活動、アンサンブル演奏:計33公演、入場者数7, 514人
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団の活動を支援することにより、本市における音楽文化の普及振興を図り、札幌の魅力向上につなげる。
	他都市の状況	同楽団に対しては、北海道も補助金を交付している(R6予算100, 000千円)。また、全国各地に存在する多くの楽団が、自治体より補助金の交付を受けている。 ・他都市自治体支援(県及び市からの補助金合計) 仙台フィルハーモニー管弦楽団:364, 880千円(R5予算)、九州交響楽団:332, 000千円(R5予算)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	160,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	160,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.16 人工
令和5年度決算額	160,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.16 人工
令和6年度予算額	140,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.16 人工

指標	アウトプット活動指標1	市内演奏会の開催回数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		71回	75回	75回	75回	75回	75回
	↓						
	アウトカム成果指標1	市内公演への観客数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		92,058人	115,000人	103,016人	115,000人	115,000人	115,000人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	観客数はコロナ禍で大きく落ち込んだ後徐々に回復しており、前年に比べ増えているが、目標値には届いていない。公演に合わせて手段や内容を変えるなど、効果的な広報・宣伝活動について都度検証しながら展開していく。					
	アウトプット活動指標2	協賛金収入(円)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		24,073,280	37,000,000	37,055,120	37,000,000	37,000,000	37,000,000
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度目標達成。令和6年度以降は令和5年度目標を継続。					

今年度の見直し内容	補助金額減額により、令和6年度140, 000千円(前年度比△20, 000千円)。
来年度以降の方向性	事業構成を含めた経費の一層の見直し、協賛金の獲得など様々な側面から当該団体の健全な経営に向けて働きかけていく。